

**製品名: ESR1 マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM81808**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット、ウサギ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:500,ICC 1:50-1:500,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	66.2kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ESR1
別名	ER; ESR; Era; ESRA; ESTRR; NR3A1
遺伝子 ID	2099.0
SwissProt ID	P03372
免疫原	大腸菌で発現したヒト ESR1 (AA: 2-185) の精製された組み換え断片。

**背景**

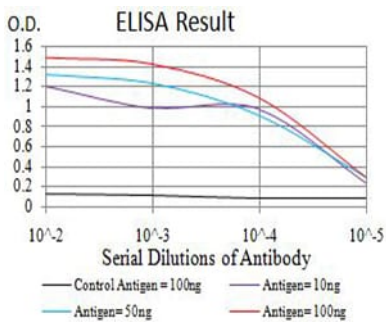
この遺伝子は、ホルモン結合、DNA 結合、および転写活性化に重要な複数のドメインからなるリガンド活性化転写因子であるエストロゲン受容体をコードしています。このタンパク質は核内に局在し、エストロゲン受容体 2 とホモ二量体またはヘテロ二量体を形成

する可能性があります。エストロゲンとその受容体は、性分化と生殖機能に必須であるだけでなく、骨などの他の組織でも役割を果たしています。エストロゲン受容体は、乳がん、子宮内膜がん、骨粗鬆症などの病理学的プロセスにも関与しています。選択的プロモーターの使用と選択的スプライシングにより、数十種類の転写バリエーションが生じますが、これらのバリエーションの多くは全長が未解明です。

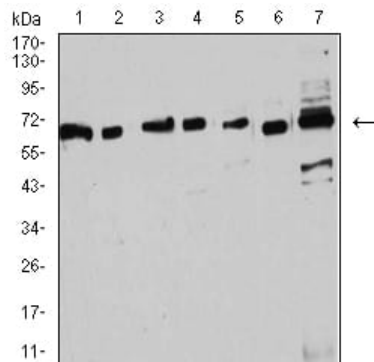
## 研究分野

-

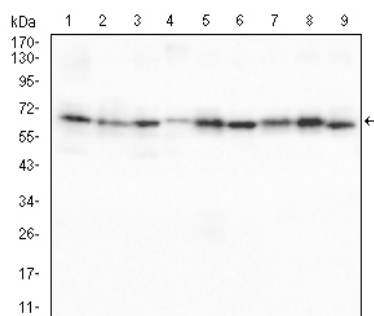
## 画像データ



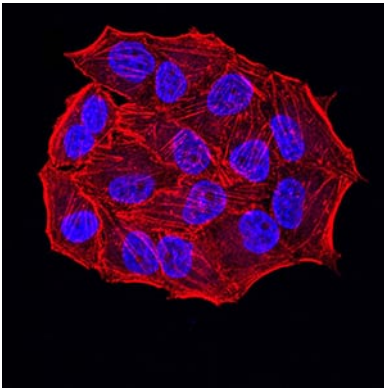
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



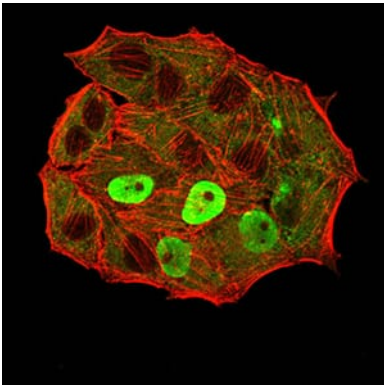
MOLT4 (1)、Raji (2)、MCF-7 (3)、T47D (4)、SK-BR-3 (5)、HeLa (6)、および C6 (7) 細胞溶解物に対する ESR1 マウス mAb を使用したウエスタンブロット解析。



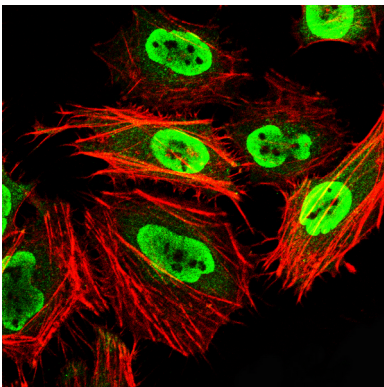
PC-12(1)Raw264.7(2)NIH/3T3(3)NRK(4)C2C12(5)C6(6)L1210(7)F9(8)COS-7(9)細胞溶解物に対する ESR1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。



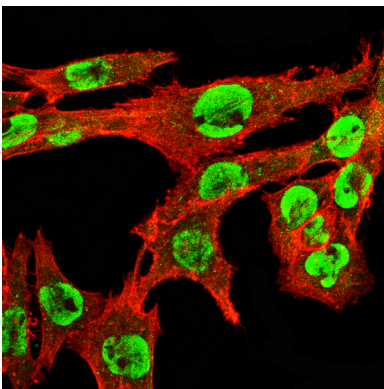
ESR1 マウス mAb を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青：DRAQ5 蛍光 DNA 色素。  
赤：Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識したアクチンフィラメント。



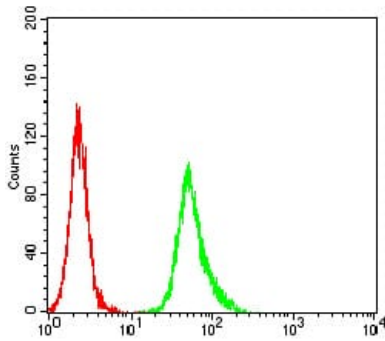
ESR1 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青：DRAQ5 蛍光 DNA 色素。  
赤：Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



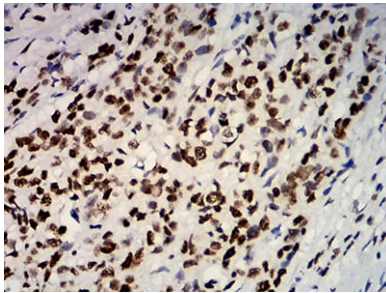
ESR1 マウス mAb (緑) を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。青：DRAQ5 蛍光 DNA 色素。  
赤：Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



ESR1 マウス mAb (緑) を用いた COS7 細胞の免疫蛍光染色。青：DRAQ5 蛍光 DNA 色素。  
赤：Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



ESR1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。



ESR1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト乳がん組織の免疫組織化学分析。